

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育人事費

事業名 特支スクール・サポート・スタッフ配置事業費（コロナ分）
 特支スクール・サポート・スタッフ配置事業費旅費（コロナ分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

会教職員課 高等学校・特別支援学校係 電話番号：058-272-1111(内8592)

E-mail：c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 35,452 千円 （前年度予算額： 17,460 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	17,460	17,460	0	0	0	0	0	0	0
要求額	35,452	8,866	0	0	0	0	0	0	26,586
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

各特別支援学校においては、「学校における新型コロナウイルス感染症対応<学校再開ガイドライン>」に基づき、登下校時の健康チェックや、校内やスクールバスの消毒、さらに障がい特性を踏まえた衛生管理等の対策がなされている。また、「特別支援学校等における新型コロナウイルス感染症対策に関する考え方と取組（令和2年度6月19日版）」（2文科初第451号）では、認知の特性により指導の徹底が難しい児童生徒等や感覚に過敏がありマスクを常時着用できない児童生徒等に対する取り組みも示されている。

これまでスクール・サポート・スタッフ等の配置により、教職員の業務量の適正化と児童生徒等の健康管理に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症への対策を講じてきた。しかし、児童生徒の健康観察のとりまとめや、教室内の換気や消毒作業等を教師が担わざるを得ない状況がある。そのため、教職員が児童生徒の学びの保障に注力できるよう、消毒作業等の業務を担当し、教職員をサポートする人材の配置が必要である。

(2) 事業内容

児童生徒の健康観察のとりまとめ作業や教室内の換気や、消毒などの感染症対策等を行う人的体制を整備し、感染症対策を図る。

義務部（小・中学部）のある県立特別支援学校19校（日赤分校は除き、郡上特別支援学校は大和校舎、那比較舎を各1校とする）に配置する。

配置は1校につき、2時間／日×5日／週×35週×4人とする。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国庫負担1/3（ただし、時間単価1,000円）
- ・スクール・サポート・スタッフ（コロナ影響分）の配置

(4) 類似事業の有無

「教師業務支援員設置費（コロナ分）」

県立特別支援学校21校に新型コロナウイルス感染症対策を図るため、教室やトイレ等の生徒が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ等）の消毒、生徒の登校時における健康状態チェックの業務等を行うため、教員業務支援員を県立学校に配置する。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	31,462	報酬 31,355千円 共済費 107千円
旅費	3,990	
合計	35,452	国庫負担 8,866千円

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「学校における新型コロナウイルス感染症対応＜学校再開ガイドライン＞」
- ・「特別支援学校等における新型コロナウイルス感染症対策に関する考え方と取組（令和2年度6月19日版）」（2文科初第451号）
- ・令和5年度 補習等のための指導員等派遣事業
「教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置」
（45億円→103億円）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 教職員が児童生徒の学びの保障に注力できるよう、消毒作業等の業務を担当し、教職員をサポートする人材を配置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

・新型コロナウイルス感染症への対応が変化しているため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の恐れがあり、教室内の換気や消毒作業等、感染防止対策を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 感染状況に応じて業務内容を見直すなど、柔軟な対応が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、業務内容について検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--